



写真で見る

まちの話題

= TOWN TOPICS =



消防設備の点検と訓練の成果を披露

みなかみ町消防団秋季点検 10/19

月夜野総合公園ふれあい広場において、町消防団秋季点検が開催され、消防団員210名が参加し、点検を受けました。

阿部町長の「点検開始宣言」に始まり、機械器具の点検、部隊訓練、ラッパ吹奏、ポンプ操法など、日頃の訓練の成果を披露しました。表彰では、120名、1団体に群馬県消防協会等から表彰状が贈られました。



▲「点検開始」の指示を受ける総勢210名の消防団員



神輿渡御で地域を盛り上げる

坂東太郎源流祭の収益を寄附 11/6

県内外の神輿の団体、16団体が参加した坂東太郎源流祭が令和7年11月2日に矢瀬親水公園にて開催され、盛大な神輿渡御が行われました。同実行委員会と利根沼田神輿愛好会より、バザー等での収益の一部を町へ寄附していただきました。

同会では、関東各地の神輿愛好会と神輿渡御を通じて友好を深め、利根沼田地域の各祭りに参加し、神輿で地域を盛り上げる活動を行っています。



▲左から林昇さん、渋谷秀明さん、阿部町長、笛木昌昭さん



ゴミ拾いはスポーツだ！

スポGOMI大会inみなかみ2025 10/11

月夜野エリアを舞台に「スポGOMI大会inみなかみ2025」が開催され、13チーム47名が元気にゴミ拾いに挑戦しました。

60分の制限時間内に拾い集めたゴミの総重量はなんと32.34kg！入賞チームにはミナカミハートポイントが贈られたほか、飛び賞としてBMZ、は一べすと、ミナカミタウンエグゼからも素敵な賞品が贈られました。



▲参加者で記念撮影



先人たちのご冥福と恒久の平和を願う

みなかみ町戦没者追悼式 11/7

三東メモリアルホールセリオ月夜野会館において、令和7年度みなかみ町戦没者追悼式が開催され、町内3か所の忠霊塔より戦没者の御霊をお迎えし、遺族の方々をはじめ、約100名が参列しました。

先の大戦により亡くなられた、町内およそ900柱の先人達のご冥福をお祈りするとともに、悲慘な史実が繰り返されないよう「恒久平和の実現」に向けて祈りを捧げました。



▲献花と祈りを捧げる参列者



まちの話題

= TOWN TOPICS =



芸人×歌人の短歌トークライブ

「詠み会inみなかみ」を開催 10/25

中央公民館を会場に、「詠み会inみなかみ」が開催され、短歌愛好者ら約60人が参加しました。

このイベントは、プロの歌人とお笑い芸人が、短歌を話題にトークを展開するイベントです。フルーツポンチ村上さん、みのるチャチャチャ♪さん、小島なおさんの3名のゲストが自作の短歌をプロジェクターに投影し、お互いの作品について楽しいトークライブが繰り広げられました。



▲作品についてコメントするフルーツポンチ村上さん



地域経済の創生に資する農業経営

全国優良経営体表彰を受賞 11/13

優れた経営を実践している農業経営体を表彰する「全国優良経営体表彰」にて、田村和敏さん（入須川）が地域創生部門で経営局長賞を受賞しました。

田村さんは、田村牧場の経営者として畜産振興に尽力されると同時に、資源リサイクルセンター利用組合の組合長として、牛糞や食品残渣等を堆肥として有効活用する資源循環型の農業生産にご協力いただいております。



▲田村和敏さん



苗植えから収穫までを体験

にいはるこども園さつま芋掘り 10/23

本多農園（本多貞良さん）にて、にいはるこども園の4歳児、5歳児によるさつま芋掘りが行われました。園児たちは畑一面に広がっているつるを引っ張り、大きなさつま芋を、手や顔を真っ黒にしながら掘り起こしました。

食育の一環として地域の方に協力していただきながら、春の苗植えから秋の収穫を体験できる良い機会となりました。



▲力を合わせてつるを引っ張る園児たち



長い歴史を持つ町内の重要な建築

月夜野神社本殿が県指定文化財に 9/12

大きな彫刻に色彩を施す古い様式と軒裏に彫刻板をはめ込む特異な様式を融合させた月夜野神社本殿は、寛政4（1792）年の棟札が残されており、軒裏彫刻の神社建築として県内最古であることから、県指定重要文化財に指定されました。

調査のなかで、月夜野神社に合祀された神社の棟札が多数発見されました。今後も継続して調査を行っていきます。



▲軒裏の彫刻が見どころの月夜野神社本殿



写真で見る



まちの話題

= TOWN TOPICS =



みなかみ町について深く考え、中学生が一般質問

令和7年度みなかみ町中学生議会 10/15

みなかみ町役場本庁舎議場で「令和7年度中学生議会」が開催され、みなかみ中学校3年生の生徒22名が参加しました。

議会では、生徒を代表した6名が町長に対し、地域の課題解決や未来に向けた提言に関する一般質問を行いました。

森健治副議長の進行により議会本会議をそのまま再現し、議員席に座った生徒代表者は、事前に準備した一般質問を具体的に発言して回答を求め、阿部町長や担当課長はそれに対して丁寧に答弁しました。また、中学生議会はライブ配信され、みなかみ中学校の3年生や保護者などが視聴しました。



一般質問／中学生議員名簿（敬称略）

・環境・農業・くらしについて
ミックガワン 素海

・福祉・医療について
MACNAMARA HANA・森下 晃利

・子育て・教育について
原澤 杏佳・井浦 遼

・観光・まちづくりについて
飯野 颯介



人生を豊かにする学びの祭典

生涯学習フェスティバル開催 9/28

カルチャーセンターと月夜野北部体育館を会場として、生涯学習フェスティバルが開催され、町内の生涯学習事業や生涯学習団体の活動発表が行われました。

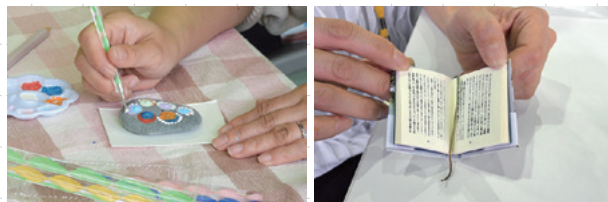
体育館ステージでは、小中学生による人権ポスターコンクール表彰式のほか、月夜野おはなしの会による読み聞かせや、下新田けやき会によるスコップ三味線、みなかみ中学校吹奏楽部による金管合奏が披露されました。



▲みなかみ中学校吹奏楽部



▲下新田けやき会によるスコップ三味線



▲ストーンドットペインティング教室

▲豆本づくり教室

そのほか、ガールスカウトや放課後子ども教室、婦人会、文化協会などの生涯学習団体による体験教室に加え、豆本づくり、ドライフラワー教室、スチレン版画教室、ヨガ体験など様々なワークショップが企画され、約300人の来場者がそれぞれのブースを楽しみました。



まちの話題

= TOWN TOPICS =



実りの秋に感謝

豊楽まつり 10/25 ~ 26

道の駅たくみの里にて、豊楽まつりが開催され、多くの来場者がたくみの里の秋を楽しみました。大人気の豊楽味噌のすくいどりや、りんご・みかんの詰め放題のほか、恒例の大烏天狗の御渡や高所作業車乗車体験、案山子制作ワークショップなどが行われました。

さらに今年は、みなかみ町20周年記念として、みなかみ町産の食材をふんだんに使い作った「豊楽なべの無料サービス」や、みなかみ町産のもち米を使ったお餅で「感謝の投げもち」も開催されました。



来年の干支「馬」がリニューアル！

たくみの里わたくみまつり 11/1 ~ 12/7

来年の干支【馬】をはじめ、わらで動物や案山子をかたどったアート作品の展示が、道の駅たくみの里で12月7日まで開催されています。里山風景を楽しみながら、アート作品を巡るスタンプラリーも同時に開催中です。

今回も美術作家・松本勇馬さんの全面監修のもと、地元のこどもたちもアート作品制作に参加するなど、地域の力を合わせて里山のアート空間が作り上げられました。里山風景とアートのコラボレーションをお楽しみください。





写真で見る

まちの話題

= TOWN TOPICS =



地域の暮らし・文化・自然を総合的に未来へ継承していく

「上ノ原 入会の森」が自然共生サイトに認定 9/16

民間の取り組み等によって、生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する「自然共生サイト」に、藤原地区の「上ノ原 入会の森」が認定されました。

「上ノ原 入会の森」は、かつて薪炭林・茅場（ススキ草原）として地域の暮らしと密接に関わっていた土地です。放置による森林化や草地の衰退が進む中、地元住民やボランティア団体「森林塾青水」などが連携して、再び草地を形成・維持し、ミズナラ林と茅場草地の共存する里山景観を再生してきました。

このたびの自然共生サイト認定は、地域の暮らし・文化・自然を総合的に未来へ継承していく「自然と人との共生」のモデルとして、「上ノ原 入会の森」が国に認められたということです。今後も、草地・林・水源・景観・地域資源など複数の価値を内包する場として、地域・流域・都市をつなぐ重要な役割を担います。



▲上ノ原 入会の森



▲森林塾青水 北山さん（左）、阿部町長（右）



▲伝統的な野焼きによる草地管理

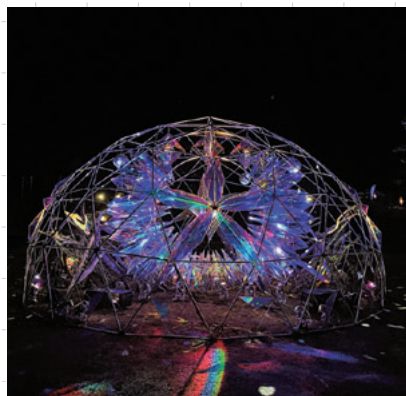


みなかみの夜が、光でつながる MINAKAMI LIGHT FESTIVAL 2025

水と光のナイトガーデン in Autumn 2025 10/11 ~ 11/23

道の駅水紀行館、湯原温泉公園、紅葉橋周辺を会場として、幻想的な光のアート空間「水と光のナイトガーデン in Autumn 2025」が開催されました。ユネスコエコパークをテーマに、みなかみ町に生息するイヌワシをモチーフにしたメインオブジェや、赤谷湖の流木を使用した空間作品が清流公園を彩り、会場に流れる心地よい音楽と相まって、多くの来場者が光の世界と安らぎの時間を楽しみました。

また、湯原温泉公園では、竹灯籠の作品が展示され、利根川の川音と暖かな竹灯籠の柔らかな光が会場を包みました。





芝 洋二郎の

みなかみアクアディスカバー

#2 水生生物調査について

水産学習館では月1回程度、水生生物調査を実施しています。同じように毎月1回実施している「諏訪峡調査」と合わせて、月2回の調査です。「継続すること」を一番の目標に、特に調査区域などは設けず、ゆるい感じで行っています。

調査では小型のたも網・さで網などを用いて生物収集を行うと共に、確認した生物の記録や、デジタルカメラ・ビデオカメラでの撮影を実施しています。これまでに月夜野・水上・新治の各地域で調査していますが、地理的な関係で新治方面の調査は薄くなっていて、これからの課題だと感じています。

調査場所に関しては、地元の方、フィールドを熟知しておられる方の情報に勝るものはありません。これまでも様々な場所で調査や収集を実施してきましたが、一番頼りになる

のはその土地を良く知っている方の情報でした。これから誌面をお借りして、いろいろと情報をお聞きたいと考えているので、ぜひ気軽に情報をお寄せいただければ幸いです。



▲赤谷川での調査風景



▲調査で見つかったオオコイムシ(群馬県絶滅危惧Ⅱ類)

まちづくり協議会だより 第78号

問 まちづくり協議会事務局(企画課)

☎ 0278(25)5030

児童の登下校見守り活動と今後のイベント情報

月夜野支部では、桃野・古馬牧小学区内において、児童の登下校の見守り活動を継続して行っております。本年は全国的に異例なほど熊の出没が相次いでいることから、見守り活動を継続すべきか否か、関係各所からご心配をいただき、運営委員会にて慎重に協議を重ねました。その結果、「みなかみ町の大切な子どもたちのために、こんな時こそ私たちの出番であろう」と力強い声上がり、安全を第一に必要な対策を講じながら、引き続き見守り活動を継続していくことになりました。今後も皆さまのご理解をお願いしつつ、安全に見守り活動を続けてまいります。

見守り活動の他にも、月夜野支部では令和8年3月開催予定の「月夜野支部ソフトボール大会」、通年では「吊るし雛製作」などの活動を行っております。皆さまのご参加をお待ちしております！

月夜野支部 岡村竜輝



▲児童登下校見守り